

河井氏側へ提供調査 甘利氏否定

1.5億円疑惑解明 岸田首相板挟み

広島県連幹部 宮邸で説明求める

岸田文雄首相が「政治小方々」で單一の筋しの状況に立たれていた。2019年の参院選広島選挙区で、自民党本部が提供した1億5千万円をめぐる問題だ。岸田首相の地元では解明に期待が高まるが、新政権の後の盾となる元幹部3人元幹部ら大物も絡む。「板挟み」となった岸田首相の言い回しはあいまいで、衆院選へのダメージを懸念する声も漏れる。

「広島県連、國政は納得してしません。」元広島県連ナンバー2の中本隆志・岸田議員は口を閉じ、首相官邸で就任わずかの日田の岸田首相に迫った。中本氏によると資金提供に関する党の説明と謝罪が必要との認識を改めて伝え、首相は必要ならば説明をするなどと答えたらしい。

中本氏が問題視するのは、岸田明幹事長の発言だ。3日のNHK番組で、河井案里氏は公職選挙法違反罪で有罪判決が確定、参院議員を失職し側への1億5千万円の資金提供について「再調査する考え方ではない」と認めた。岸田は「岸田が広島県連に与えた衝撃は大きく、中本氏が「岸田首相と(裏書き)直接確認する」として上原した。

- 1.5億円の資金提供をめぐる主な動きや発展
- 19年 参院選広島選挙区で安倍晋三氏らが支援した河井案里氏が当選。自民党本部は1億5千万円を提供
- 20年 案里氏と次の児玉氏、公職選挙法違反(買収)容疑で逮捕
- 21年 案里氏の失職に伴う参院再選挙。「政治小方々」で單一の筋しの状況に立たれていた。2019年の参院選広島選挙区で、自民党本部が提供した1億5千万円をめぐる問題だ。岸田首相の地元では解明に期待が高まるが、新政権の後の盾となる元幹部3人元幹部ら大物も絡む。「板挟み」となった岸田首相の言い回しはあいまいで、衆院選へのダメージを懸念する声も漏れる。
- 5月 岸田文雄氏らが二階俊博幹事長(当時)に直談判。「党として早く説明を」
- 9月 岸田氏「必要であるならば説明する」
- 10月 甘利明氏「再調査する考え方ではない。(岸田)総裁がはっきりおっしゃっている」
- 広島県連・中本隆志氏「総裁が幹事長がきちんと説明と謝罪をしている」

広島県連が岸田首相から返したところ。

本気度の試金石

日本大蔵院の岩井泰信
監修(政治学)の話 國民

が知りたじのび、1億5千万円という異常な額のお金がなぜ、誰の判断で国民党が本部から提供されたのかといふ縦縛だ。国民党が9月

に公表した調査結果では、

なっており。岸田文雄首相は、

この問題に積極的に取り組み、政治への信頼を取り戻すことを示す試金石となるだ

るためには記憶が欠かせない。実際に党執行部や閣僚にまわる間接的な影響をも配する言葉が始めている。

新政策からはじめる潜伏勢力、広島では單一の筋しの衆院選への悪影響をも配する言葉が始めている。

男性(73)は「岸田首相の説明に納得できない限りは国民に入れられない」と語った。再調査に肯定的な者を見た甘利氏は、19年参院選や広島県連の反対を押し切って衆院選立候補を主導した安倍氏も近い立候補者からられる。岸田首相が総裁選に勝利できた背景には、安倍氏の力添えがあつたものと見られる。

意マードも深めが、ある政党は、内閣の意思決定の過程を明らかにされるべきだ。内閣が9月に開かれた会合では、出席者がまともに取り合つておらず、「まるで焼け野原だ」との声が出るほど支持基盤が弱体化している地域も抱えている。いまは首相就任の視

安倍氏に配慮か

影響してくるとみられるのが、安倍元首相の存在だ。再調査に肯定的な者を見た甘利氏は、19年参院選や広島県連の反対を押し切って衆院選立候補を主導した安倍氏も近い立候補者からられる。岸田首相が総裁選に勝利できた背景には、安倍氏の力添えがあつたものと見られる。

新政策からはじめる潜伏勢力、広島では單一の筋しの衆院選への悪影響をも配する言葉が始めている。

男性(73)は「岸田首相の説明に納得できない限りは国民に入れられない」と語った。再調査に肯定的な者を見た甘利氏は、19年参院選や広島県連の反対を押し切って衆院選立候補を主導した安倍氏も近い立候補者からられる。岸田首相が総裁選に勝利できた背景には、安倍氏の力添えがあつたものと見られる。

意マードも深めが、ある政党は、内閣の意思決定の過程を明らかにされるべきだ。内閣が9月に開かれた会合では、出席者がまともに取り合つておらず、「まるで焼け野原だ」との声が出るほど支持基盤が弱体化している地域も抱えている。いまは首相就任の視

た時のダメージは大きい」と説明してくれるだろう。(大久保貴裕、東郷隆)

が、内閣改革を進め、政治と力を合わせて、